

アイ・オー・データ機器・Canonical社 新事業発表会

Canonical Group, Ltd.
株式会社アイ・オー・データ機器

ご挨拶

株式会社アイ・オー・データ機器
代表取締役会長
細野 昭雄



アイ・オー・データの想い

Apple Windows Android +  Ubuntu

アイ・オー・データの想い

エネルギー自給率

12.6%

食料自給率
(カロリーベース)

38%

IT自給率

(デジタル赤字・高度IT人材)

??

Canonical社との取り組みの目的 今後のビジネス展開について

Ubuntu事業のご紹介

株式会社アイ・オー・データ機器
事業開発室 室長
堀 英司



Ubuntu Pro for Devices



Canonical launches Ubuntu Pro for Devices

Security and long term compliance for IoT
device deployments



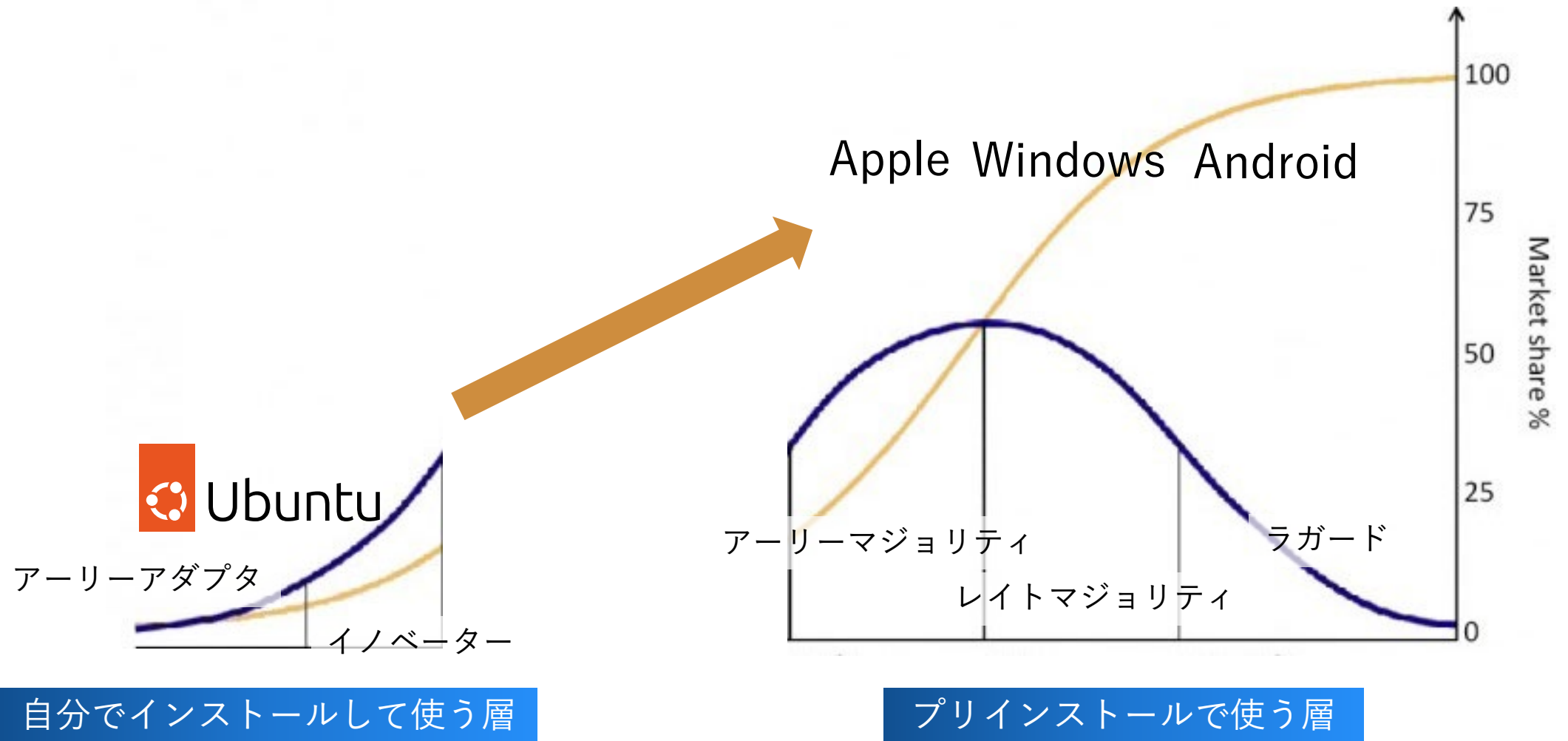
Canonicalとアイ・オー・データの
協議により
Ubuntu搭載デバイスを

“より広く”
“手軽に使っていただく”

ための仕組みが実現

2024年4月9日にCanonicalより
全世界での展開が発表されました

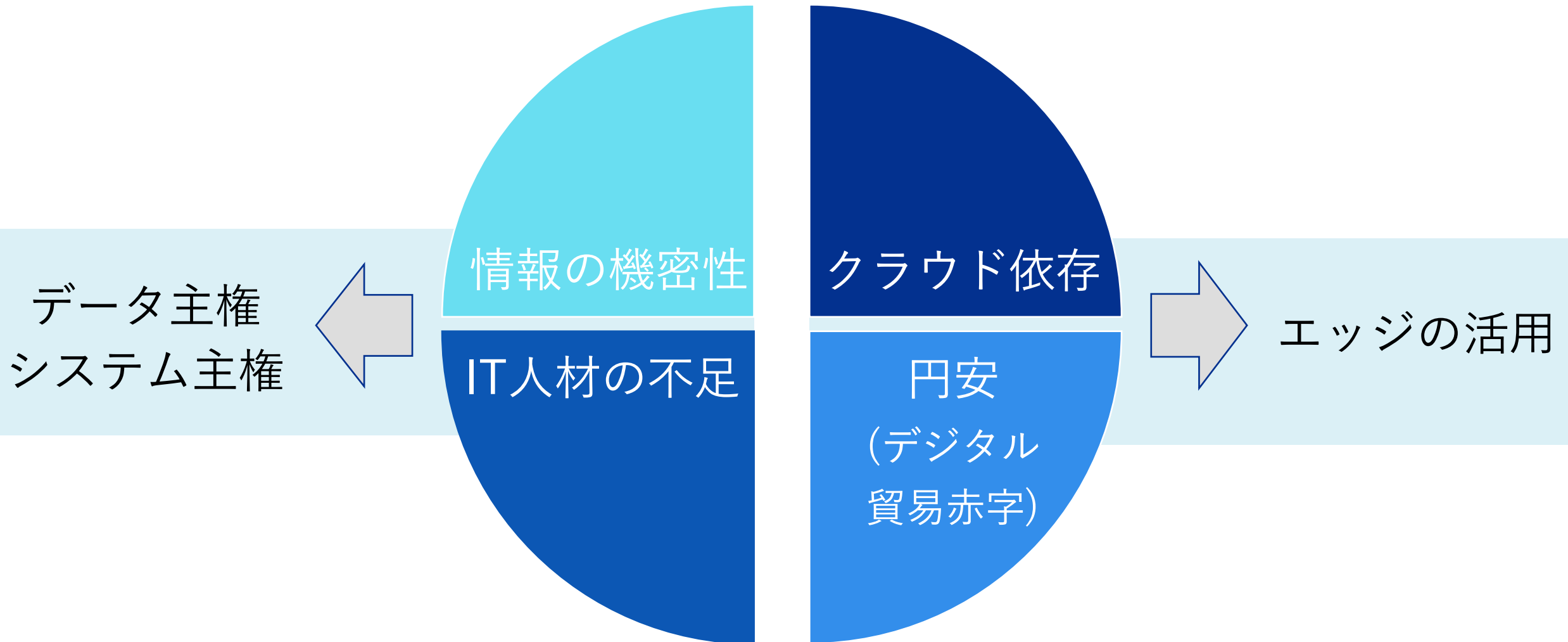
Ubuntu Pro for Devices



事業企画の背景

「データ」をめぐる外部環境と
当社の考え方

IT産業の課題「自給率」



海外・国内の動向

情報の機密性 / 独立性 / 持続可能性といった文脈で、
データ・システム・運用の主権を取り戻す動きが
活発になっています。

ヨーロッパの動向

欧州委員会のGDPR違反も影響か The Document Foundationが指摘

ドイツの州、3万台の自治体PCを「Linux」 「LibreOffice」に移行すると発表

ドイツ北部のシュレーズヴィヒ＝ホルシュタイン州は、自治体のPC3万台で使用しているWindowsとMicrosoft OfficeをLinuxとLibreOfficeに移行すると発表した。LibreOfficeの開発元であるThe Document Foundationは、同州が移行を決めた背景として「欧州委員会のGDPR違反」を挙げている。

© 2024年05月02日 08時00分 公開

[@IT]



海外コメンタリー

脱「Windows」へ再び-- ミュンヘンのオープンソ ースめぐる動きの背景

Cathrin Schaer (Special to ZDNET.com) 翻訳校正: 石橋啓一郎 2020-05-29 06:30



公的予算はオープンなコードに--バルセロナ市がオー プンソースへの移行計画

Liam Tung (Special to ZDNET.com) 翻訳校正: 石橋啓一郎 2018-01-20 06:30

日本政府の動き (ガバメントクラウド)

各省庁が準備

プライベート
クラウド

パブリック
クラウド

事務局説明資料（デジタル社会の実現について） 経済産業政策局・商務情報政策局
https://www.meti.go.jp/shingikai/sankoshin/shin_kijiku/pdf/002_03_00.pdf

プロプライエタリ

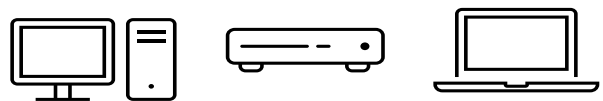
• Windows							
• Android							
• 組み込みLinux(NAS)							



オープン

- 制約なく使える
- 情報が多く得られる

デバイス



クラウド



オープンなOS Linux

安定したリリースと、長期サポート

アプリケーション開発や、
バージョンアップ計画が立てやすい。



Ubuntu LTS + UbuntuPro

RedHat Enterprise

リリース間隔

2年毎4月

2年程度

セキュリティ
アップデート
提供期間

リリースから5年

無償無し

Ubuntu 22.04LTS
の場合

2022/4→2027/4

2027/4→2032/5

有償で最大10年の
セキュリティサポート



オープンなOS Linux

クラウドで最も使われている

※Canonical調べ

Private cloud | Containers | Serverless

55% - 70%

OpenStack Swift

docker

kubernetes

Public Cloud

60% - 80%

Amazon Web
Services

Google Cloud

Microsoft Azure

コンテナ / AI / ロボット /

自動車など開発環境の標準プラットフォーム



ROS.org

MLOPS、SDV

一般的な6400以上のソフトウェアがすぐ使える



Ubuntuとは？

Canonicalが開発し、
オープンソースとしてコミュニティへ提供している
Linux OS



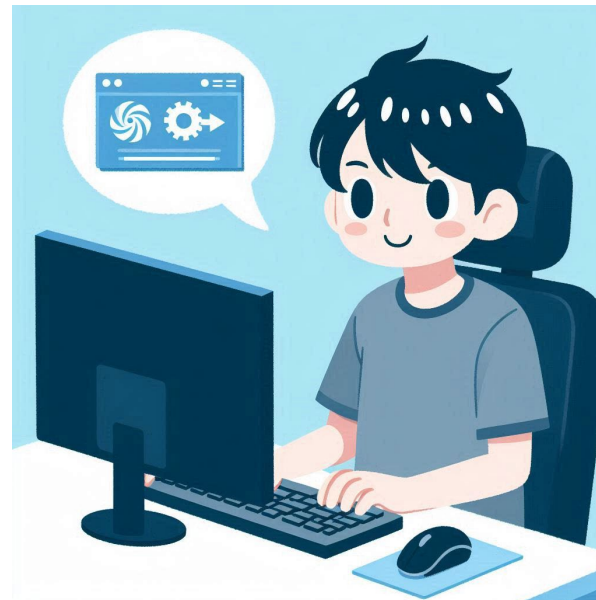
Ubuntu事業概要と展望

アイ・オー・データはユーザ様の手間を“0”にします

機材の選定・検証
を“0”に



インストール時間
を“0”に



バージョンアップ作業
を“0”に



①Ubuntuデバイス



	高信頼性モデル (2bay RAID1ストレージ)	省スペースPCモデル
CPU	Core i3-12100TE 4コア 4.40GHz	Core i3 1215U 6コア 1.20GHz/4.40GHz
メモリ	32GB	32GB
ストレージ	480G SSD × 2 (RAID 1)	512GB(M.2 SSD)
HDMI	HDMI × 1	HDMI × 1 + Displayport
ワイヤレス	-	802.11ax/BT5.2
LAN	2	2
USBポート	4	4 + 1(Type-C(Alt))

② 「Ubuntu Pro for Devices」 ライセンスのリセラー



組み込みPCを販売するパートナー様等へのライセンスを販売いたします。

- Ubuntuをプリインストール権
- リリースから10年間のセキュリティメンテナンスのご提供

運用中のPCや、他社PC用に
ライセンスのみ販売

組み込みPC(パートナー)



参考: Ubuntu Pro for Devices

無償利用と商用サービス利用時の主な相違点	無償利用	Ubuntu Pro (\$25/年)	Ubuntu Pro for Devices (製品価格に含む)
Ubuntu Mainリポジトリに登録の2300以上のパッケージに対するセキュリティメンテナンス(PHP, OpenSSL, NGiNX, MySQLなど)	5年間	5年以上相当の権利を付帯	
Ubuntu Ubniverseリポジトリに登録の23000以上のパッケージに対するセキュリティメンテナンスのご提供 (Perl, Python, OpenJDK, node.js, docker, Tomcat, WordPressなど)	ベストエフォート	10年間*1	10年間*1
Live Update	No	Yes	Yes
Landscapeによる大規模システム管理	No	Yes	10年間
NIST 認証FIPS暗号化モジュール *Linuxカーネル, OpenSSH, OpenSSL, stongSwan(IPsec)など	No	Yes	Yes
使用用途の制限	なし	なし	組込み機器

今後の展開

Cloud/
Server

Desktop/
Appliance

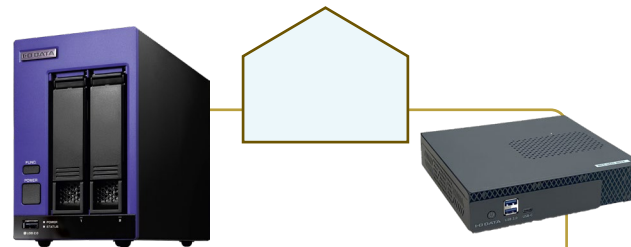
IoT/
Embedded

High

Value

Entry

NPU搭載モデルなど



I-O DATA

より小型で
ライトなモデルなど

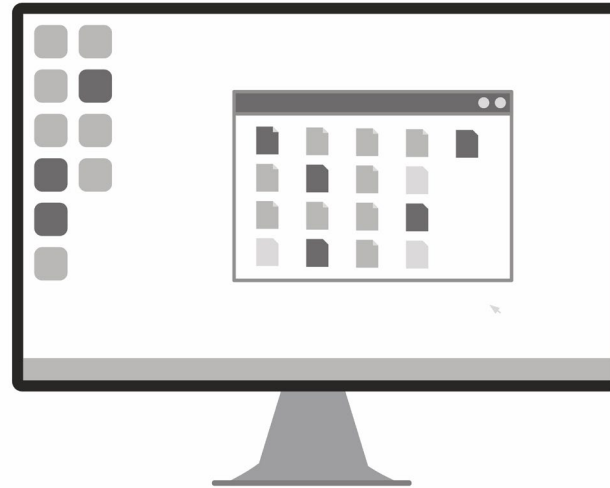
当社だけでは顧客の様々な要望に応えることはできません。
組み込み、ノートPCなど、パートナー他社とともに選択肢を増やしていきます。

OSS活用で取り組むことと目標

クラウド＋エッジ
プラットフォームとして



オフィスや教育での活用



ソリューションのプラット
フォームとして



初年度の売り上げ目標 8 億円

パートナー企業の皆様



日本医師会ORCA管理機構

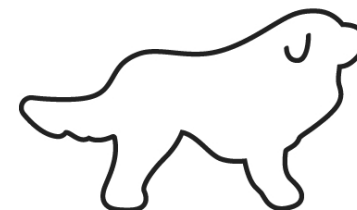


Canonical
Ubuntu

OPTiM®



CyberStation



Pyrenee

